

2020 年度

ミラークよこすか

事業報告

社会福祉法人 電機神奈川福祉センター



目次

1. 事業の概要

- (1) 目的..... 3p
- (2) 法人設立と施設設置の経緯 3p
- (3) 施設概要 3p
- (4) 2020 年度事業目標と年度末事業結果 5p

2. 2020 年度事業報告

(1) 就労移行支援事業

- ① 利用者の状況 7p
- ② 支援プログラム 11p
- ③ 就労支援 18p

(2) 就労定着支援事業 21p

3. 2021 年度事業目標 24p

1. 事業の概要

(1) 目的

障害を持つ人が社会自立できるよう支援すること。

(2) 法人設立と施設設置の経緯

1972 年、電機連合神奈川地方協議会（以下、地協と呼ぶ。）は、第 20 回定期大会において、労働組合としては全国に先駆けて障がい福祉活動を開始しました。地協は、神奈川県内の電機・電子・情報機器関連産業に働く組合員で組織された産業別労働組合です（2015 年 3 月末現在 109 単組・支部、組合員数 75,736 人）。障害をもつ人も「ともに学び、遊び、育ち、働き暮らせる社会」を目指した障がい福祉活動は、国際障害者年の理念でもある「ともに生きる社会づくり」への大きな潮流につながりました。

この活動を 20 年にわたり続けてきた間に、障害をもつ子どもたちの育ち学びあう場は広がり、選択できるようになってきました。しかし、学校卒業後の進路は依然として厳しい状況が続いていました。そこで、地協の障害福祉活動のさらなる展開として、社会福祉法人の設立を目指し、1991 年に「電機神奈川福祉センター設立準備委員会」を設置し、1995 年 3 月に神奈川県より社会福祉法人の認可を受けるに至りました。

法人設立前の 1992 年には「横浜南部就労援助センター」が事業を開始し、法人設立後の 1996 年には横浜市に「通所授産施設 ぽこ・あ・ぽこ」が事業を開設しました。その後、川崎地域、湘南地域でも事業を展開し、障害者の社会自立や一般就労を中心に支援を行ってきました。

2013 年に新たな事業展開を目指し、調査の結果、横須賀地域での障害福祉サービス事業所開設に向けた準備を開始します。2014 年 10 月に設置した「横須賀新事業所開設準備室」を経て、2015 年 1 月 1 日に「ミラークよこすか」は事業を開始しました。

(3) 施設概要

【事業所指定】（2015 年 1 月より）

- 法的根拠：障害者総合支援法
- 事業指定者：横須賀市長
- 事業所番号（サービス種類）：1411901760 [就労移行支援事業・就労定着支援事業]
2017 年 4 月 1 日：自立訓練事業（生活訓練）廃止、就労移行支援事業増員
2018 年 7 月 1 日：就労定着支援事業開始
- 指定日・事業開始日：2015 年 1 月 1 日

【利用対象者】

- 原則として 65 歳未満の知的障害者・精神障害者
- 定員：就労移行支援事業 20 名（2017 年 4 月 1 日変更）

所在地	横須賀市大滝町 2-15-1 横須賀東相ビル 6 階		
交通機関	京浜急行線 横須賀中央駅より徒歩 4 分		
Tel	046-821-3450	Fax	046-887-0480
開設年月日	2015 年 1 月 1 日		
建物構造	鉄筋コンクリート造 9 階建（横須賀東相ビル内）		
面積	専用部分 219.17 m ²		
設備内容 () 内共用部	多目的室・訓練室 1・訓練室 2・相談室 2・事務室・男性ロッカー・女性ロッカー 倉庫・(男性トイレ・女性トイレ・給湯室)		

(4) 2020 年度事業目標と年度末事業結果

2020 年度目標	2020 年度事業報告
重点目標	
① 事業所に慣れることに時間がかかる方や、安定した通所が難しい方などが安心して通所訓練が行えるよう、居心地の良い事業所環境を整備します。 ② 就労先開拓に力を入れ、地域内での就労を希望する方の就労実現を目指します。	① 体験利用の方法を見直し、半日体験や3日体験などチャレンジしやすい方法を導入するとともに、ご本人の要望を体験プログラムに反映する方法へと変更しました。 ② 新型コロナウイルスの影響で就職活動は困難を極めました。年度内に4名の方が横須賀市内の事業所に就職されました。
1) 就労移行支援事業 (20 名定員)	
① 新規利用者 11 名の受け入れを目指します。 ② 1 日あたりの平均利用者数 17 名以上を目指します。 ③ 年間 10 名の就労者を輩出します。(上半期:5 名、下半期:5 名) ④ 10 名の利用者に施設外実習の機会を提供します。 ⑤ 三浦半島横浜市南部地域での就労先開拓に注力し、通勤時間に不安を持つ方の就労実現を目指します。 ⑥ 講座プログラムの現状を調査し、利用者によりマッチしたプログラムのブラッシュアップを検討します。	① 13 名の新規利用者を受け入れました。 ② 1 日あたりの平均利用者数は 19.7 名でした。 ③ 新型コロナウイルスの影響で就職活動が滞る時期がありましたが、下半期後半に持ち直し、目標は下回ったものの年度内の就労者は 6 名となりました。また、翌年度 4 月 1 日付けで 4 名の方の就職が内定しています。(上半期:3 名、下半期 3 名) ④ 就労前実習などを中止する企業がありましたが、目標である 10 名の利用者が施設外実習を行いました。 ⑤ 新型コロナウイルスの影響により就職活動が進まない状況でしたが、4 名が横須賀市内で就職しています。 ⑥ 感染防止のため講座プログラムの規模を縮小したことで、調査が難しいことがありましたが、継続中のプログラムを重点的に行うなど、ブラッシュアップの実施は計画的な実行できています。
2) 就労定着支援事業	
① 就労定着率 90%以上(基本報酬算定基準による)を目指します。 ② 利用者に対するサービス提供実施率 90%以上を目指します。 ③ 利用者や就労先の状況に応じて柔軟な支援方法でサービス提供ができるよう努めていきます。 ④ 支援対象者の増加に対応すべく、就労者向けイベントの開催方法について検討を行います。	① 基本報酬算定基準による就労定着率は 90.2%でした。 ② 契約者へのサービス提供率は 98.6%でした。 ③ 感染症対策と利用者の利便性向上のためテレビ電話や LINE などのツールを導入しました。 ④ 新型コロナウイルスの影響により、当初想定していたイベント開催は困難となりました。WEB などを活用した代替イベント開催についても年度内には開催できていません。
3) 運営全体	
① 新規利用者獲得に向けて、関係機関への定期的な訪問等による情報発信を行います。 ② ブログ機能の活用など、情報サイトの更新を定期的に行い、当事者の方に直接働きかける営業活動を継続します。 ③ 日々のミーティングで日常的な振り返りや職員間の情報共有を行うとともに、就労移行支援事業利用者全員に対して毎月ケース会議を実施し、目標達成状況の評価や支援の方向性について検討を行います。 ④ 年間 20 名以上の実習生を受け入れます。	① 新型コロナウイルスへの対応のため訪問活動は最小限に留めましたが、事業所パンフレットをリニューアルするとともに、新規に立ち上がった相談支援事業所へ訪問するなどして情報提供を行いました。 ② 昨年開始した事業所ブログの更新を週 1 回ペースで継続しています。ウェブ経由での問い合わせが年間 40 件あり、多くの方に閲覧いただいておりますが、利用に繋がった方は 1 名でした。 ③ 毎日ミーティングを開催し、日々の出来事の振り返りと共有を行いました。また日々の情報を元に全利用者のケース会議を毎月開催し、支援方針の見直しを行いました。 ④ 学校関係の体験実習は例年と比較し少なくなる部分

⑤ 事業所内における災害ゼロを目指し、職員・利用者共に安全に対する意識向上に努めます。 ⑥ 部署内研修を実施するとともに、キャリアパス対応研修を始めとする外部研修を活用し、職員個々のスキルアップを図ります。 ⑦ 事業所内のレイアウトやインテリアなどに配慮し、日々の通所が難しい方でも、可能な限り利用しやすい環境作りを行っていきます。	がありましたが、上期に 27 名の実習生を受け入れていました。 ⑤ 利用者に大きな災害は発生しませんでした。職員の通勤災害が発生し、通院対応となりました。通院は終了しています。 ⑥ 支援スキル向上等を目的に部署内研修を 5 回開催しました。外部研修は 4 件参加しています。 ⑦ エントランスのインテリア見直しや、相談室の増設を行いました。来客者の印象を意識したレイアウト変更を行うとともに、既存利用者の相談環境の向上を図りました。
【感染症対策】 ① 緊急事態発出に伴う利用者の事業所利用状況について ● 4 月 13 日～6 月 5 日 通所での利用率 80%減を実現するため在宅支援の体制を整え、週 1 回通所へのご協力を依頼。原則、午前の利用を依頼するとともに、午後は個別対応が必要と思われる方に対してのサービス提供を実施。 ● 6 月 8 日～6 月 19 日 5 月末での緊急事態解除に伴い、2 グループ(10 時～12 時、13 時 30 分～15 時 30 分)に分かれていただき、毎日の通所サービス提供を再開。 ● 6 月 22 日～6 月 26 日 通常サービスの提供再開を目指し、時間短縮の上、午前・午後通して(10 時～14 時)のサービスを提供。 ● 6 月 29 日～ 通常時間(9 時～15 時)による通所でのサービス提供を再開。利用者からの感染症等に対する個別の要望への対応は継続。 ● 2 度目の緊急事態宣言時は特別な対応は行わず、通常開所。 ② 緊急事態発出に伴う職員の勤務について ● 4 月 13 日～5 月 6 日 週 3 日出勤、週 2 日在宅ワーク(一部職員を除く)。在宅ワークでは、講座プログラムや個別支援プログラムの見直し作業を実施。ZOOM を使用し、WEB 上で職員同士の打ち合わせ等実施。 ● 5 月 7 日～5 月 31 日 社会情勢を考慮するとともに、少人数での事業所内支援方法を確立できたことから在宅ワークを週 3 日程度に増(一部職員を除く)。 ● 6 月 1 日～ 緊急事態解除に伴う通常の通所サービス再開に備え、在宅ワークを終了。毎日出勤での業務を再開。 ● 2 度目の緊急事態宣言時は通常通りの勤務を継続。 ③ 事業所での感染防止への対応について ● 毎朝の検温と検温シートの提出、手指消毒(オートディスペンサー導入)、マスク着用を利用者・職員とも徹底しました。 ● 換気扇、サーキュレーター、窓の開放等により常時事業所内を換気するようにしました。 ● 次亜塩素酸水生成器を購入し、アルコール不足でも継続して消毒が行える体制にしました。 ● 適宜消毒を行えるよう、机ごとに次亜塩素酸水を設置しました。 ● 日中の定期的な消毒及び利用者帰宅後の全体消毒を実施するとともに、電話機等の飛沫が飛びやすいものについては使用ごとに消毒を実施しています。 ● 事業所内のレイアウトを変更し、ソーシャルディスタンスを確保できるように配慮しました。 ● 相談室、訓練室、食堂に飛沫防止フィルター設置し、飛沫感染防止に努めています。 ● ロッカー室の使用方法を変更し、なるべくロッカー室に出入りせず自席で荷物を管理できる体制に変更しました。 ● 密状態を回避するため講座等のプログラムの開催方法を変更しています。 ● 給茶機用コップを全て使い捨て紙コップへ変更しました。 ● 就労者、企業等を対象に WEB 面談を導入し、就労支援員の訪問を削減した中でも情報共有ができるよう体制を整えました。 ④ 感染者への対応について ● 定着支援事業利用者に感染者が発生しました。就労者のため感染前 2 週間以上、他利用者・職員との接触はありません。就労先と情報共有を行いながら、自宅待機となっているご本人へ定期的に連絡する等の対応を行いました。現在は完治し、通常勤務を行っています。	

2. 2020 年度事業報告

(1) 就労移行支援事業

① 利用者の状況

2020 年度は、4 月に 5 名の新規利用者を迎え、20 名でスタートしました。年間で新たに利用を開始した方は 13 名となり、新型コロナウイルスの影響を強く受けながらも、新規に利用を開始される方は例年と比較しても大きく減少することはありませんでした。

就職者については 6 名と予想を大きく下回る実績となりました。新型コロナウイルスの影響で採用活動を停止する企業も多く、想定通りの就職活動が実施できなかったことが原因と考えられます。しかしながら、2021 年 3 月末時点で同年 4 月からの就職内定者も 4 名おり、限定的ではあるものの中断されていた採用活動が徐々に再開されつつあるようです。

年度の後半の利用者数が多くなっている点については、上半期に 10 名と比較的多くの新規利用者を迎えたことに加え、新型コロナウイルスの影響により就職活動を行えなかった方が 3 年目の利用を申請したことが要因と考えられます。

表 1.月別利用者動向 就労移行支援事業

(単位：名)

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
新規利用		5 (9)	0 (2)	3 (1)	0 (1)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (0)	1 (1)	0 (0)	13 (16)
退 所	就労	1 (1)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (2)	0 (0)	2 (1)	6 (7)
	その他	0 (0)	0 (0)	0 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	1 (6)
利用者数		20 (21)	20 (22)	22 (23)	21 (22)	23 (22)	24 (22)	23 (21)	23 (20)	22 (20)	23 (19)	24 (18)	22 (17)	

() 内は前年度実績

利用者数：月内に登録があった方の人数

◆ 利用される方の年齢層について

新たにミラークよこすかを利用される方が比較的多いのが年度初めである4月であり、その多くが3月に高等学校等を卒業した10代の方が中心です。年度途中で利用を開始される方は、離職し再就職を目指す方や、しばらく働くことから遠ざかっていた方など、事情は様々で、年齢層も20代から50代までと幅広くなります。全体的に見ると、ご利用される方の年齢層は20代が全体の70%以上を占め、次いで10代が多くなっています。40代、50代の方のご利用される人数は年度により異なりますが、2020年度は比較的少ない年度となりました。

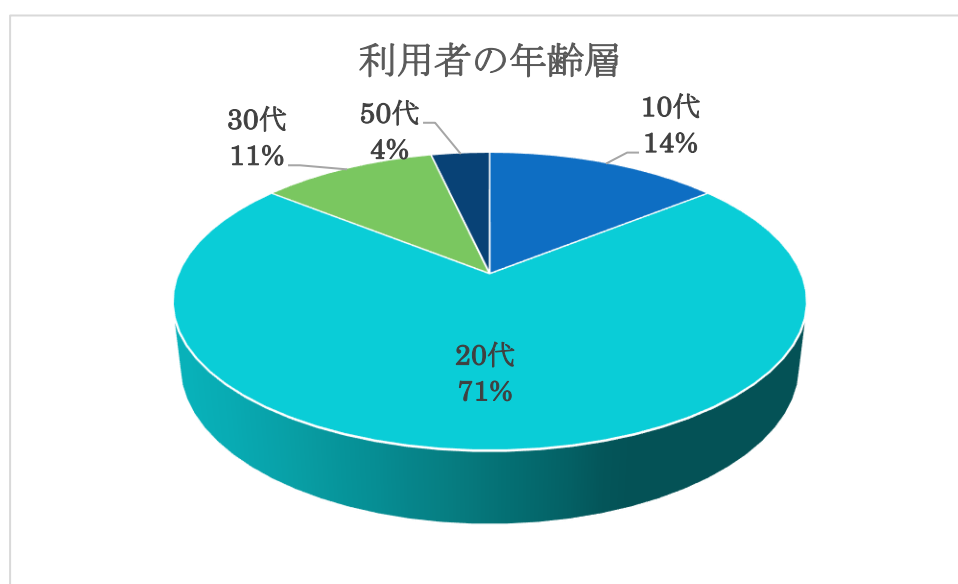


図 1.利用者の年齢層（2020 年度中に利用実績のあった方）

◆ 利用される方の障害種別について

ミラークよこすかは障害種別による利用の制限は行っておらず、事業所の環境や支援プログラムが有効と考えられる方には障害種別を問わずご利用いただいています。2020 年度の利用者

の障害種別は知的障害が最も多く、全体の 78%を占めています。次いで精神障害が 11%、その他が 11%となっています。その他には身体障害や障害者手帳未取得の方が含まれます。障害種別は時期や年度により変化しますので、ニーズに合わせて幅広くご利用いただけるよう支援プログラムの改定などを適宜行っています。

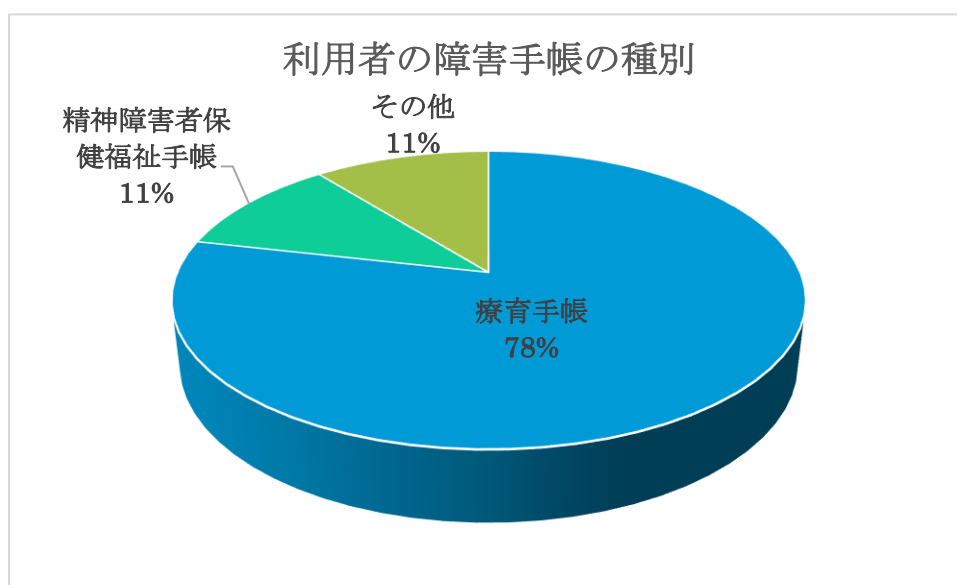


図 2.利用者障害種別（2020 年度中に利用実績のあった方）

◆ 利用される方の居住地等について

ミラークよこすかは京浜急行線の横須賀中央駅が最寄り駅で、徒歩 5 分程度の場所にあります。また、横須賀市内のバスは、横須賀中央駅前を経由し、各所に路線が引かれていることが多いため、バスを利用して通所されている方も多くいます。地域内では、比較的交通の便が良い立地と言えます。JR 横須賀線は、最も近い横須賀駅まで徒歩 20 分程度と少し距離があるため、利用される方は多くありません。

利用者の居住地は、横須賀市内及び隣接する地域がほとんどです。最も多いのは、横須賀市からの通所者で 61%を占めます。次いで横浜市金沢区が 21%、横浜市磯子区が 11%となり、京浜急行線の沿線にある地域がほとんどを占めています。逗子市や葉山町なども距離的には近い立地ですが、ご利用される方は多くありません。

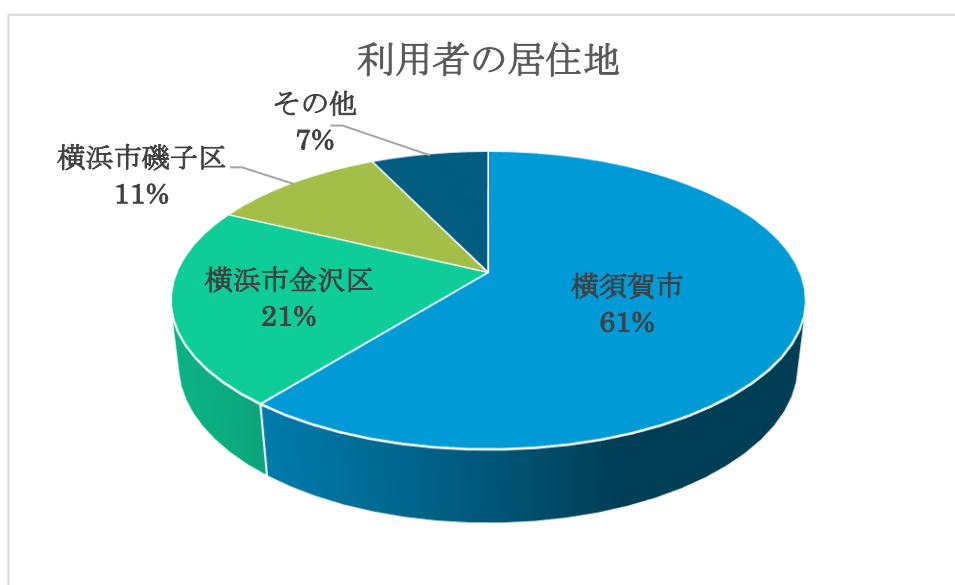


図 3.利用者の居住地（2020 年度中に利用実績のあった方）

■ 就労アセスメント

就労継続支援事業 B 型の利用希望者に対して就労移行支援事業所が実施する就労アセスメントを 2015 年度より実施しています。2020 年度は、4 名（横須賀市在住養護学校の生徒 2 名）の就労アセスメントを受け入れました。就労アセスメントは、就労の可能性を評価することを目的に 1～2 週間の期間、利用契約を締結し行っています。横須賀市在住の養護学校在校生は体験実習として就労アセスメントを受け入れるよう市から要請があるため、利用契約を結ばず実施しています。

表 2 .就労アセスメントの実施状況

依頼元	人数	居住地	人数
養護（特別支援）学校	3 名	横須賀市	3 名
行政機関	1 名	横浜市金沢区	1 名

② 支援プログラム

ミラークよこすかの開所時間は、9 時～15 時で、利用されるご本人の状況に応じて利用時間を決定しています。利用時間内は 4 つのコマに分かれており、それぞれのコマの間に休憩時間を設けています。

<ミラークよこすか週間スケジュール>

	月	火	水	木	金
9:00～9:05	体操・朝礼				
9:05～9:15	ストレッチ				スピーチ
9:15～10:30	【1 コマ】トレーニング（作業訓練/個別トレーニング）・就職ナビゲーション				
10:30～10:45	休憩				
10:45～12:00	【2 コマ】トレーニング（作業訓練/個別トレーニング）・就職ナビゲーション				
12:00～12:45	昼休憩				
12:45～13:45	【3 コマ】トレーニング（作業訓練/個別トレーニング）・講座				
13:45～13:55	休憩				
13:55～14:55	【4 コマ】トレーニング（作業訓練/個別トレーニング）・講座				
14:55	終礼・日誌記入				

※2020 年度は新型コロナウイルス感染対策のため、スケジュールを一部変更しています。

◆ 作業訓練

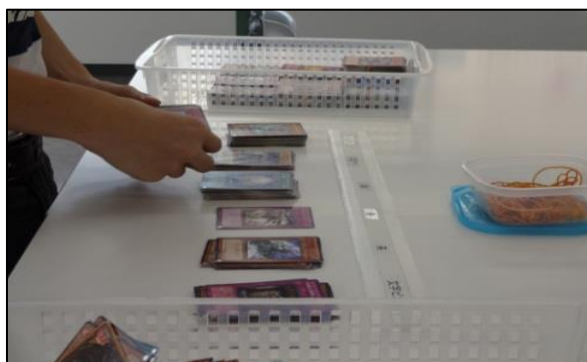
主に事務作業や軽作業などの模擬作業を中心に実施し、一部企業等から受注した作業を行っています。様々な模擬作業を通して、ご自身の課題認識を行ったり、一定期間働くことのシミュレーションを実施するなどのトレーニングとして活用しています。また、ある程度働くイメージが付いた方に対しては、施設外作業や受注作業を行っていただき、実際の仕事により近い環境で経験を積んでいただいています。

<主な作業訓練>

【CD 検品】



【トレーディングカード仕分け】



【ビーズ組み合わせ】



【納品チェック】



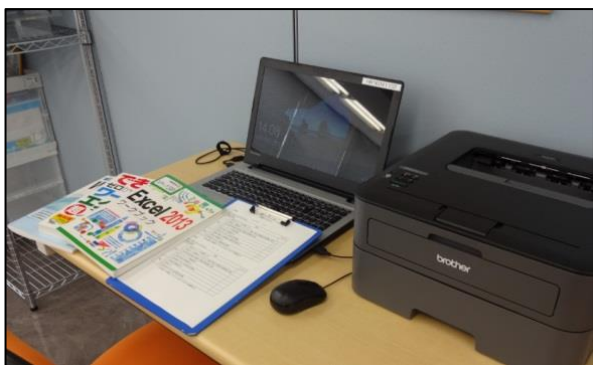
【ピッキング】



【メール仕分け】



【事務】



【環境整備】（清掃）



◆ 講座

講座プログラムでは、ビジネスマナーやコミュニケーション等に関する講座を開催しています。

各講座は全 12 回（一部 6 回）、3 か月で完結し、年間 4 回（4 月～6 月、7 月～9 月、10 月～12 月、1 月～3 月）開催しています。講座の受講は選択制で、利用されているご本人の希望や課題感に応じて職員と面談の上、決定しています。

<ミラークよこすか 講座一覧>

講座名	開催頻度	講座のねらい	内容
ビジネスマナー スタートアップ	毎週開催	基礎的なビジネス マナーの習得	「挨拶」「身だしなみ」「話し方」「社会人としての心がまえ」など、ビジネスマナーの基本を講義と練習で学びます。
ビジネスマナー ステップアップ	毎週開催	ビジネスマナーを 自身の強みとする	職場でふさわしい言葉づかいや態度、飲み会でのマナーなど、場面に応じたビジネスマナーを講義と練習で学びます。
楽しく元気に働くための 生活講座	毎週開催	自立した生活送る ための力の習得	生活するためのお金や、働くための生活リズムなど、暮らしの中で必要になることをシミュレーション形式で一緒に考えます。
コミュニケーション	毎週開催	コミュニケーションに自信をつ け、良い人間関係を築くきっかけと する	相手と自分をどちらも大切にする「アサーティブコミュニケーション」を中心に学びます。身近な場面などから「ちょうど良いコミュニケーション」とは何か考え、会話練習を行います。
ディスカッション	隔週開催	コミュニケーションの向上	決められたテーマについてグループで話し合い、話し合ったことを発表します。
色々な仕事を知ろう	隔週開催	就職先のイメージ 作り	事務、販売、介護など、色々な仕事を動画などで学びます。実際に働いている人の1日のスケジュールや、仕事に必要な能力などを知り、就職活動に役立てます。
働く事例検討会	隔週開催	就職後のイメージ 作り	働く上で実際にあった成功事例や失敗事例を紹介し、その事例についてグループで話し合います。
健康な体をつくろう！	隔週開催	体を動かす習慣を 身に付ける	ウォーキングや室内でのトレーニングなどを行い、無理なく楽しく体を動かします。
スピーチ	隔週開催	人前で話すことに 自信を持つ	好きなテーマで1分間のショートスピーチを行います。人に良い印象を与える話し方や人の話を聞く態度を身に付けます。

※2020年度は新型コロナウイルス感染対策のため開催数を制限して実施しています。

◆ 個別トレーニング

これまで当事業所を見学していただいた方の中には、長期間在宅生活を送られている方や、病状の悪化などにより離職を経験されている方などが多数おります。就職を希望し就労移行支援事業所の見学までは頑張ったものの、作業訓練などのプログラムを目の当たりにすると、不安が大きくなりそのまま連絡が取れなくなってしまう方も少なくありませんでした。このように、最初から仕事を意識した活動を行うと、負担が大きくなり精神的につらくなってしまうことはよくあります。個別トレーニングはそのようなケースに対応するための支援プログラムとして開始しました。プログラム内容は、文字を書く練習や文章の転記、自ら設定したテーマの研究など、複数用意しています。まずは取り組みやすいトレーニングから開始し、計画的に就職までの道筋を作ることで、スムーズに利用に繋がっていくことも、このプログラムの特徴です。用意されたトレーニングもただ行うだけにならないよう、少しずつ就職へ近づいていることを認識していただき、意欲向上につながるようになっています。作業能力は非常に高いものの、それ以外の事柄が就職への大きなハードルになっている方に対しても有効なプログラムとして、重要な位置づけとなっています。

<個別トレーニングの例>

トレーニング名	内容とねらい
美文字	業務日誌や履歴書をきれいに書けるようにする
自分研究	自分事を知り、面接でのアピール材料とする
テーマ研究	情報を自分で調べてまとめる力をつける
ミラーク新聞	構成や内容を自分で考え、時にはチームメイトと協力して作成する
News チェック	ニュースに興味を持ち、気になるニュースをまとめ、説明する
文章転記	見本通りの書き写すことで集中力をつける
その他	必要に応じて相談に応じながら個別に設定

◆ 就職活動ナビゲーション

働く力を高めるためのトレーニングとは別に、就職活動に向けた準備を計画的に行っていくために設けられているプログラムです。このプログラムは、履歴書や面接の対策すること、働くための条件や待遇などについて考えていくことを主な内容とし、就職や就職活動を具体的に意識できるよう構成しています。

利用から就職までの期間は人により差があり、ミラークよこすかでも半年程度で就職する方から利用期限の2年近くで就職する方までいらっしゃいます。タイミングが合わず就職まで想定していたよりも時間がかかってしまった方からすると、自分は就職に近づいているのか不安になることや、就職活動に直接繋がるようなことをもっとやっていきたい等の思いが出てくる場合があります。そ

のような場合にも、就職ナビゲーションで自身の状況や就職について継続的に考える機会を設けることで、モチベーションの低下を防ぐ効果を期待しています。

＜就職ナビゲーションの実施項目の一例＞

項目名	内容
私の取扱説明書（トリセツ）を作ろう①	自分のことを整理、確認することでこれから取り組むことを考えます
働く基礎知識講座①	働くことそのものや雇用条件等を知り、就職について現実的に考えます
私の取扱説明書（トリセツ）を作ろう②	面接や働き始めた時に配慮して欲しいこと等を伝えられるようにしていきます
働く基礎知識講座①	給与、社会保険等についての知識を身に付けます
面接練習	繰り返し面接練習を行います
履歴書作成	必要に応じてサポートしてもらいながら履歴書を作成します
面接練習（実践編）	実際に応募する求人情報を元に面接練習を行います

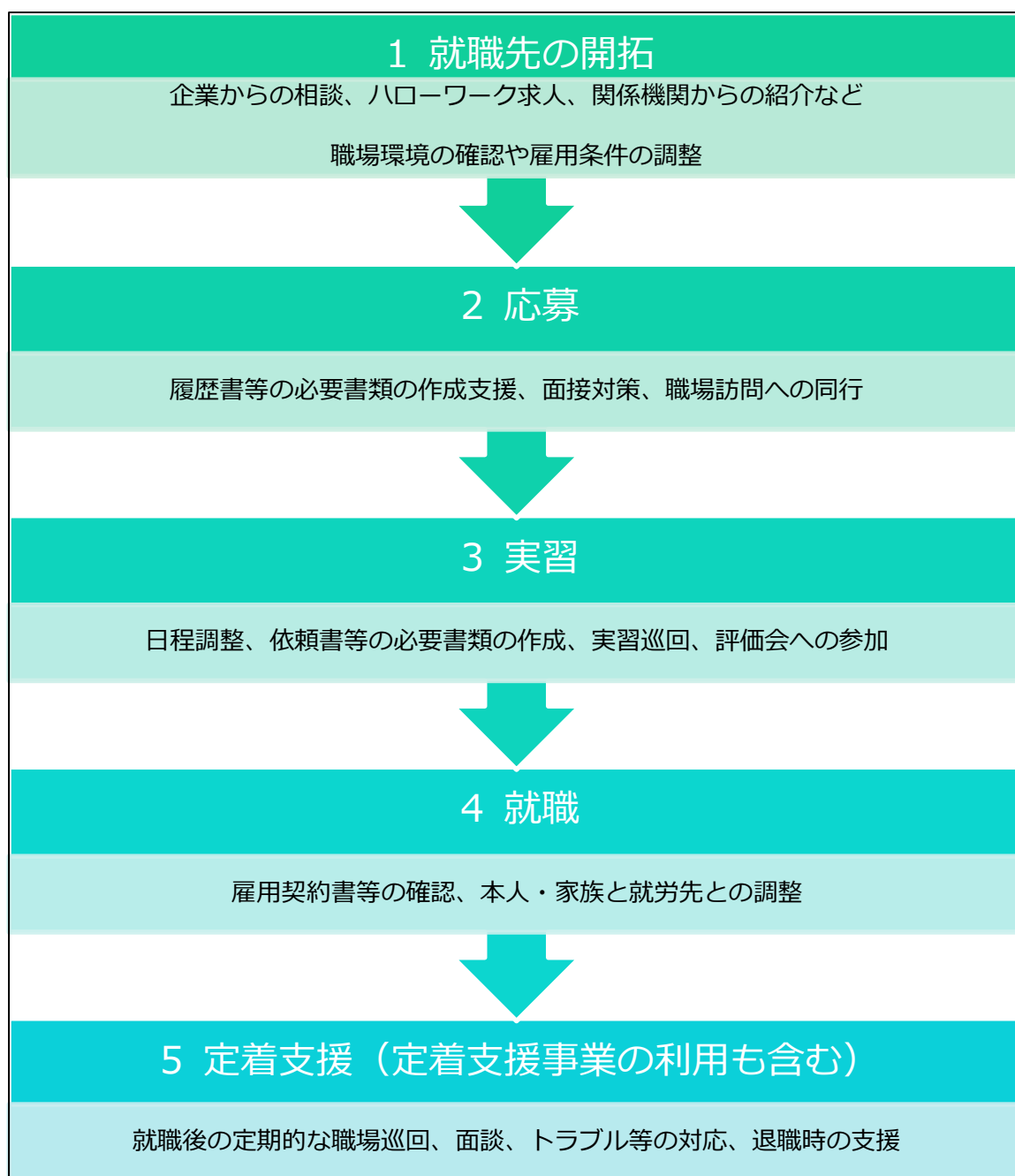
◆ スーツデイ

年に数回、企業見学等の外出プログラムを実施しています。当日は基本的にスーツ着用で出かけるため、ミラークよこすかでは「スーツデイ」と呼んでいます。障害者雇用をしている企業にご協力いただき、働く上での心構えや、社員に求めることなどについての講義、利用者からの質問への回答などを行っていただいています。利用者の皆さんにも、実際の職場に行くことで、働くイメージ作りや就職する職種を考える際の参考にしていただいています。毎年度 4 社ほどご協力をいただき実施しておりますが、2020 年度は新型コロナウイルス感染対策のため中止しています。

③ 就労支援

◆ ミラークよこすかの就労支援の流れ

ミラークよこすかの就労支援は、以下の流れで実施しています。就職した利用者は、ミラークよこすかを退所しますが、就職後の支援もミラークよこすかが継続的に行っています。



◆ 2020 年度の就労実績

2020 年度は 6 名の利用者が就職されました。新型コロナウイルスの影響により就職活動が思うように進まず、就労者数は想定よりも少なくなりました。そのような中、徐々に才世活動を再開する企業も増え、前述のとおり年度末までに 2021 年 4 月入社の内定者が 4 名となりました。

就職後は、6 か月が経過するまではミラークよこすかの就労移行支援事業内で定着支援を行い、6 か月経過後については、ミラークよこすかで実施している就労定着支援事業の利用等により継続的に支援を行います。また、就労定着支援事業の利用期間終了後についても、ミラークよこすかが独自の支援を行います。

表 3.2020 年度の就労実績一覧

	就労先	仕事内容	就労移行支援事業利用期間
1	D 株式会社	清掃 他	8 か月
2	株式会社 N	清掃	13 か月
3	株式会社 F	軽作業	14 か月
4	N 株式会社	清掃・庶務	21 か月
5	P 株式会社	農作業	10 か月
6	N 株式会社	清掃・庶務	10 か月

(2) 就労定着支援事業

「一般就労へ移行した障害者について、就労に伴う生活面の課題に対し、就労の継続を図るために企業・自宅等への訪問や障害者の来所により必要な連絡調整や指導・助言等を行うサービス」として、2018年4月に就労定着支援事業が創設されました。同事業は、就労後6か月経過後から3年6か月までの間を対象とした障害福祉サービスです（就労から6か月未満は就労移行支援事業の定着支援期間と位置付けられています）。

ミラークよこすかは、2018年7月より同事業を開始し、2021年3月末までの期間に41名の方にご利用いただいています。ミラークよこすかでは、就労定着支援事業を実施するとともに、サービス期間が終了した方に対しても、継続して職場定着の支援を行っています。

表4.月別の契約者数と支援者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
契約者	27名	25名	24名	25名	25名	25名	24名	24名	24名	24名	24名	21名
支援者	27名	25名	24名	25名	24名	25名	23名	23名	24名	24名	23名	21名

※契約者：ミラークよこすかの就労定着支援事業をご契約いただいている方

※支援者：ご契約いただいている方の内、該当月に支援を受けられた方

支援は、企業訪問や面談などの対面支援に加え、電話やテレビ電話を使用した支援も合わせて行っています。

【ミラくる（就労者対象イベント）】

「ミラくる」は、ミラークよこすかが開催している就労者を対象とした交流会です。他の就労者と仕事の話やミラークよこすか利用中の思い出話をしたり、就労支援担当以外の職員と就職状況について話をしたりする交流の場となっています。2017 年度に初めて開催し、その後 3～4 か月に 1 回程度継続的に開催をしています。2020 年度は新型コロナウイルスの影響により中止しています。

【離職の状況】

ミラークよこすかを利用しながら就職された方に対しては、期限を定めず定着支援を行っています。可能な限り長く働き続けられるよう支援をしています。中には様々な理由により離職される方もいらっしゃいます。2020 年度には、3 名が離職されました。ミラークよこすかでは、退職の支援やその後の生活に関するご相談もお受けしています。離職後、通所施設利用の手続きや再就職の支援も必要に応じて行っています。

表 5. 過去 5 年間の就労者の状況（2020 年度末時点）

	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
就職者数	9 名	11 名	10 名	7 名	6 名
() 内は 2020 年度末時点での離職者数	(2 名)	(1 名)	(2 名)	(1 名)	(0 名)
在職者	7 名	10 名	8 名	6 名	6 名
在職率	77%	90%	80%	85%	100%

3. 2021 年度事業目標

重点目標	① 増加傾向の希望職種（事務系など）への就労支援を強化するため、必要な支援プログラムなどを検証・強化します。 ② 求人数が少ない横須賀・三浦及び近隣地域で就職を希望する方に多くの応募機会が提供できるよう、企業開拓に力を入れます。
1. 就労移行支援事業 （20 名定員）	① 新規利用者 10 名の受け入れを目指します。 ② 1 日あたりの平均利用者数 19 名以上を目指します。 ③ 年間 10 名以上の就労者を輩出します。（上半期：5 名、下半期：5 名） ④ 10 名の利用者に施設外実習の機会を提供します。 ⑤ 横須賀、三浦、横浜市南部地域での就労先開拓に注力し、通勤時間に不安を持つ方の就労実現を目指します。 ⑥ 事務系を中心に、職種の理解やスキルアップに繋がる支援プログラムの運用を開始します。
2. 就労定着支援事業	① 就労定着率 90%以上（基本報酬算定基準による）を目指します。 ② 利用者に対するサービス提供実施率 90%以上を目指します。 ③ 利用者や就労先の状況に応じて WEB 面談を導入するなど柔軟な支援方法でサービス提供ができるよう努めていきます。 ④ 新型コロナウイルスの感染対策を講じながら、就労者向けイベントの開催方法について検討を行います。

	⑤ 関係機関との連携を強化し、個別の支援における協力関係構築を図ります。
3. 運営全体	① 前年度改定したパンフレットのマイナーチェンジを実施するとともに、関係機関等へ配布します。 ② 現在、利用している WEB サイトでの広報の効果を検証し、これからの広報活動の在り方を決定します。 ③ 日々のミーティングで日常的な振り返りや職員間の情報共有を行うとともに、就労移行支援事業利用者全員に対して毎月ケース会議を実施し、目標達成状況の評価や支援の方向性について検討を行います。 ④ 年間 20 名以上の体験利用者を受け入れます。 ⑤ 事業所内における災害ゼロを目指し、職員・利用者共に安全に対する意識向上に努めます。 ⑥ 部署内研修を実施するとともに、キャリアパス対応研修を始めとする外部研修を活用し、職員個々のスキルアップを図ります。 ⑦ 新任職員にエルダーを設定し、日常的な業務やルールなどの指導を行います。 ⑧ 事業所内のレイアウトやインテリアなどに配慮し、利用する方が過ごしやすい環境作りを行っていきます。

